

事務事業名	農林水産振興がんばる地域応援総合事業	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
政策名	総合計画体系 (V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	農業生産グループ	課長名	高野 耕治
施策名	(33)農業の振興	担当者名	細田 和正	電話番号(内線)	0854-40-1051
基本事業名	(097)安心・安全な農産物生産の推進	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 310 015 215 019	がんばる地域応援総合事業	

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(20年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	過疎・高齢化の進行による生産力低下や担い手不足、農産物価格の低迷、食の安全・安心に係る消費者意識の変化など、農業を取り巻く厳しい情勢に対応するため、地域住民や農林業者、関係機関等が連携し、地域が主体となって行う戦略的で多彩な取組等を支援する。 【県単独補助事業:(補助率)ソフト1/2以内、ハード1/3以内】	地域住民や農林業者、関係機関等が連携・協働し、地域が主体となって行う戦略的で多彩な取組等を支援するため、平成20年度から始まっている。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
◆ソフト事業(雲南水耕野菜産地協議会外2団体) 事業費5,030千円[うち県費2,469千円] ◆ハード事業(吉田町水稲採種組合外3団体) 事業費10,617千円[うち県費3,539千円、市費875千円] ◆計 事業費15,647千円[うち県費6,008千円、市費875千円]	国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計(A) 千円	千円	13,993	7,062	6,008	3,350		
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
①事業取りまとめ ②事業実施ヒアリング ③交付申請事務 ④補助金交付事務	正規職員従事人数 人 延べ業務時間 時間 人件費計(B) 千円 トータルコスト(A)+(B) 千円	人 時間 千円 千円	1 237 904	1 237 921	1 237 934			0 0 0

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) ①事業取りまとめ ②事業実施ヒアリング ③交付申請事務 ④補助金交付事務 ◆ソフト事業(3団体実施) ◆ハード事業(4団体実施)	⑤ 活動指標	回	5	5	7	5		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)								
	平成23年度と同様								

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	生産団体、新規就農者等	⑥ 対象指標	戸	5,587	5,587	5,128	5,128	5,128	
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標	億円	26.8	25.7	23.2	26.0	26.0	
	農業の生産基盤を整えることにより、農産物の販売金額を増加させる。	ア JA雲南販売額							
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標	億円	▲ 3.2	▲ 3.4	▲ 2.3	▲ 2.6	▲ 2.6	
	農家所得の向上	ア 市内の農業所得総額							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
国、県ともに個別農家を支援する事業はなくなり、認定農業者等の大型農家や地域が一体となって産地化を図るため協議会等への支援を行う方向になっている。	平成17年度から19年度までは「たち上る産地育成支援事業」で実施されてきた経過がある。	平成20年3月に策定された「新たな農林水産業・農山漁村活性化計画」において、地域の重点プロジェクトとして位置付けられた取組を支援するための事業であり、毎年実施されるプレゼンテーションによって柔軟に事業が実施できることから、事業実施主体からの評価は高い。

事務事業名	農林水産振興がんばる地域応援総合事業	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 事業内容が農産物の販売金額増加を目指したものとなっており、農業の振興と結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 地域住民や農林業者、関係機関等が連携・協働し、地域が主体となって行う戦略的で多彩な取組等を支援するために島根県が創設した事業であり、制度上、市町村が取り組むこととなっている。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 自立できる経営体を育成するため、明確な目標のもとで構築された事業であり、対象・意図とも妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 生産者団体等による自主的な取り組みを支援する事業であり、成果は十分に上がっている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 県単事業であり、雲南市として事業を廃止することはできず、事業申請があれば実施しなければならない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他に類似事業はなく、統廃合できない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 生産者団体等による適切な事業費であり、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ それぞれの生産者団体等を育成していくため支援が必要であり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 事業目的を明確にして募集されたものであり、受益機会は公平に確保されている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	自立できる経営体を育成するために実施されている事業であり、雲南市としても積極的に支援すべき事業である。水耕野菜及び完熟果実の生産拡大や産直販売が急激な伸びを示しているなど、着実に成果が出てきている。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>(廃止・休止の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
生産基盤を拡大していくためには、それぞれの分野における担い手を育成していく必要がある。各プロジェクトごとに対象となる農業者を絞って取り組みを推進し、特産品目の育成と生産拡大を図っていく。																						